



第79回 卒業証書授与式



6名の卒業生のみなさん、おめでとうございます。
教室には1・2年生からのメッセージが飾られ、体育館には、
3年生から感謝の言葉が掲示してありました。送辞・答辞とす
ばらしく、式歌・校歌で勇気を届けた卒業式となりました。



式辞の中で、牧野文幸さんの話をしました。

青の刻(とき)

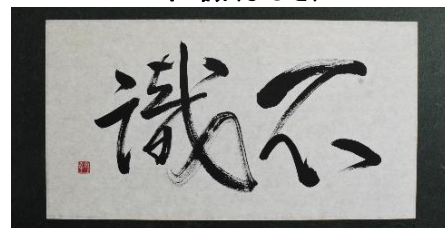
駆ける

「青の刻」は、黒崎中に入學した当初、どう振舞えばよいのか、静かに
悩んできたあなたたちに重なって見えました。「駆ける」は、3年生になり、
後輩を引っ張る意味が分かりだし、卒業そして次に進む道がはっきり
と見えてきて、駆けだしているあなたたちに重なって見えてきました。



不識(ふしき)

「不識」とは、簡単に言うと「知っているだけじゃ ダメ」ということ。
「知っている」こと・「行(おこな)ってきた」ことに偏らないようにし
たい。どれだけの知識があろうと、どれだけのことを成してこようと、そ
れを自慢するだけでは、はずかしいということ。大切なのは、「知っている
」ことを有効に活用して何をするのか、「行ってきた」ことを踏まえて
どう行動するのかである。要するに「過去」より「未来」なのである。



みなさんが、黒崎中で学んだことを、次の場所でどう生かしていくのか、次の場所で行ったことを社会で
どう発揮していくのか、期待しています。自分の「未来」を自分の意思でつくっていきましょう。

